

あいちビジョン2030
2021－2023 実施計画
(概要版)

年次レポートの作成趣旨

- 「あいちビジョン 2030」（2020 年 11 月策定）の推進のため、毎年度、年次レポートによる進行管理を実施。
- ビジョン推進初年度となる 2021 年度は、ビジョンに位置付けた政策の 3 か年（2021～2023 年度）の実施計画を作成。
- 「2021 - 2023 実施計画」では、ビジョンで掲げた 10 の重要政策の方向性に沿った 48 の政策の柱ごとに 3 か年の工程表を示す。また、県が取り組む主な政策やその背景などを 42 のコラムで分かりやすく紹介。

基本目標の達成に向けて

- ビジョンが掲げた、2030 年度に向けた基本目標「暮らし・経済・環境が調和した輝くあいち～危機を乗り越え、愛知の元気を日本の活力に～」の達成に向け、設定した進捗管理指標に 2023 年頃の進捗目標を設定した。また、今後 10 年間に取り組むべき 10 の「重要政策の方向性」ごとに設定している進捗管理指標について進捗目標を示し、ビジョンの進行管理の参考としていく。

進捗管理指標	2030 年頃の数値目標	2023 年頃の進捗目標	現状
<暮らし> 県民の幸福感（10 点満点）	平均 6.5 点超の維持 （～2030 年度）	平均 6.5 点超の維持 （～2023 年度）	5.7 点（2013 年度） 6.3 点（2015 年度） 7.2 点（2017 年度） 6.7 点（2019 年度）
<経済> 県内総生産の国内総生産に対するシェア	7.7%程度（2030 年度）	7.6%程度（2023 年度）	7.5%（2018 年度）
<環境> 温室効果ガスの総排出量の削減率（2013 年度比）	26%削減（2030 年度）※	—	3.5%削減（2018 年度）

※国の 2050 年カーボンニュートラル宣言による動向等を踏まえ、見直しを検討

1 危機に強い安全・安心な地域づくり

政策の柱		主な施策と目標等
1-1	新型コロナウイルス感染症の克服	<ul style="list-style-type: none"> ○愛知県新型コロナウイルス感染症対策本部のもと感染症拡大防止対策の総合的な推進 ○ワクチンの大規模集団接種会場の開設、市町村と連携した速やかなワクチン接種の実施 ○検査体制の充実や、入院病床等の確保、医療資機材の整備など医療面での対策の推進 ○SNS等を活用した自殺防止の相談体制の強化、インターネット上の誹謗中傷への対応など県民生活への対策の充実 ○中小企業等の資金繰りへの支援やインターネットを利用した合同企業説明会など経済対策の推進
1-2	新たな大規模感染症リスク等への対応	<ul style="list-style-type: none"> ○愛知県危機管理推進要綱に基づく危機管理の取組の総合的な推進、国民保護共同訓練の実施 ○感染症対策関連会議の開催など平時からの関係機関等との連携強化、サプライチェーンの中核をなす分野や大規模感染症リスク対策として重要な製品分野等の企業立地の推進、中小企業のBCP策定支援
1-3	ハード・ソフト両面からの防災・減災対策	<ul style="list-style-type: none"> ○住宅の耐震診断費、耐震改修費、除却費補助の実施【耐震化率：95%（2025年度）】や要緊急安全確認大規模建築物の耐震改修費補助の実施【耐震性が不十分なものを概ね解消（2025年度）】など住宅・建築物の耐震化の促進 ○県立学校の武道場等の吊り天井耐震対策【2022年度完了】の推進 ○「避難所における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」の普及・啓発、市町村による避難所の感染症対策資材の整備支援など感染症の流行と自然災害の同時発生リスクを踏まえた避難体制の整備・強化 ○ゼロメートル地帯における広域的な防災活動拠点の整備【愛西市内2022年度供用、西尾市内2024年度供用】
1-4	安心して暮らせる地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○通学路や未就学児の移動経路の点検と安全確保対策、歩道のバリアフリー化など交通弱者対策の推進 ○自転車通行空間の計画的な整備促進や自転車乗車用ヘルメットの購入支援、出張講座の開催 ○犯罪被害者等を支援するための条例の制定【2021年度】及び条例に基づく支援の実施 ○愛知県弁護士会との連携や専門分野チームによる研究会の実施など県の消費者相談の機能強化

2 次代を創る人づくり

政策の柱		主な施策と目標等
2-1	創造性を伸ばす教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校1・2年生で導入している35人編制の3年生以上への拡充【全学年導入(～2025年)】 ○新学習指導要領を踏まえた授業改善や研究成果の普及、アクティブ・ラーニングの指導方法等の研究 ○あいちSTEMハイスクール指定校での理工系大学等と連携した研究開発、芸術・デザイン系大学等との連携の推進
2-2	多様性を尊重する教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○にしお特別支援学校の設置【2022年度開校】、知多地区聾学校分校の設置【2023年度開校】、岡崎特別支援学校の移転【2024年度開校】など特別支援学校の学習環境や通学環境の改善 ○ICT機器の配備等による障害種別や教育課程に応じた教育環境の充実 ○外国人児童生徒等が在籍する小中学校への日本語教育適応学級担当教員の配置や語学相談員の派遣、高等学校・特別支援学校への教育支援員の配置
2-3	グローバル人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○あいちグローバルハイスクール指定校での海外高校との交流や成果の普及 ○グローバル人材育成の全県的な拠点校として、刈谷北高校に国際探究科の新設【2023年度】 ○県立大学における外国語セミナーの開講やコミュニティ通訳学コース(仮称)の開設【2022年度】
2-4	魅力ある学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○社会や生徒のニーズを踏まえた全県的な県立高校の再編将来構想の策定【2021年度】と構想に基づく取組の実施 ○県立高校や特別支援学校の児童生徒用タブレット端末等の情報処理機器等の運用・整備 ○小中学校でのICT活用モデル校による先進的な授業の研究や、県立高校でのタブレット端末等を活用した授業の研究や教材の開発 ○総合教育センターの移転【2026年度移転】に向けた研修機能の重点化や研究成果を活かした実践的な教員研修の実施 ○城北つばさ高等学校昼間定時制課程の総合学科への改編【2023年度】 ○公立高等学校入学者選抜における新たな入試制度の実施【2022年度～】

政策の柱		主な施策と目標等
3-1	女性の活躍促進	<ul style="list-style-type: none"> ○経済団体、労働団体、企業等と連携した、あいちの女性の活躍促進会議やあいち女性の活躍促進サミットの開催 ○製造業における女性管理職比率向上のための調査・研究や農業分野における女性の活躍支援 ○固定的な性別役割分担にとらわれない進路・職業選択やキャリア形成を支援する学生向けの出前講座の実施 ○女性起業家・経営者支援プログラムや女性起業家セミナーの実施
3-2	高齢者の社会参加の促進	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者就職相談・面接会や中高年齢離職者再就職支援セミナーの開催【高齢者（65歳以上）の労働力率：26.9%（2025年）】 ○高齢者の就労・生きがいつくり、多世代交流、移動支援といった先導的なモデル事業の実施
3-3	若者や就職氷河期世代などへの支援	<ul style="list-style-type: none"> ○地域別就職面接会やインターネットを利用した合同企業説明会の開催 ○紹介予定派遣制度を活用した職場実習などによる未就職卒業者等の正社員就職への支援 ○あいち就職氷河期世代活躍支援プラットフォームによる就職・正社員化等に向けた取組の実施や経済団体、県内企業への働きかけの実施【就職氷河期世代の正規雇用の増加数：17,700人（2020～2022年）】
3-4	障害のある人の活躍支援	<ul style="list-style-type: none"> ○あいち障害者雇用総合サポートデスクによる相談対応やあいちジョブコーチの派遣などの企業支援 ○あいちアール・ブリュット展の開催や企業と連携したアート雇用の推進 ○トップレベルの選手等による講演会や実演の実施、パラトップアスリートの発掘・育成
3-5	外国人県民の活躍促進	<ul style="list-style-type: none"> ○地域における日本語教育の総合的な推進に関する計画の策定【2021年度】 ○県立高校における就労アドバイザーの設置や定住外国人向けのキャリアカウンセリングの実施、就職面接会等の開催、事業者に対する雇用に関する相談や派遣コンサルティングの実施
3-6	人生100年時代の学び直し	<ul style="list-style-type: none"> ○県立大学における学術講演会や公開講座の開催、あいちシルバーカレッジの開催 ○岡崎高等技術専門学校における3Dモデリングやロボットシステムに係る訓練科の設置【2022年度一部開設】
3-7	健康長寿	<ul style="list-style-type: none"> ○県民の健康づくりの取組に応じて、県内の協力店で様々なサービスが受けられる優待カード「MyCa」の交付【県内の協力店舗数：2,000店舗（～2022年度）】、企業の健康経営の支援

4 安心と支え合いの社会づくり

政策の柱		主な施策と目標等
4-1	出会いから結婚、妊娠・出産、子育てまで切れ目のない支援	<ul style="list-style-type: none"> ○出会いサポートポータルサイト「あいこんナビ」による婚活イベント情報との一元的な情報発信 【出会いの場を提供するイベント実施数：1,500回（2024年度）】 ○不妊治療に対する助成や将来子どもを持つことを望むがん患者等への妊よう性温存治療に対する補助 ○子育て家庭への訪問型の寄り添い支援を提供するモデル事業の実施【家庭訪問型支援の実施団体数：11団体（2024年度）】
4-2	地域包括ケアシステムの構築支援	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者が参加しやすいように配慮した通いの場づくりのモデル事業の実施 ○認知症地域支援推進員を育成するための研修プラットフォームの構築【2021年度】 ○介護施設等への介護ロボット【177施設（2021～2023年度）】やICT機器【873事業所（2021～2023年度）】の導入支援
4-3	障害のある人の地域生活と医療・療育の支援	<ul style="list-style-type: none"> ○グループホームで働く世話人等の確保支援や地域生活を体験する機会の提供【地域生活移行者数：142人（2020～2023年度）】 ○障害者福祉減税基金を活用した知多地域での重症心身障害児者施設整備に対する支援【2022年度開所】
4-4	外国人県民の生活支援	<ul style="list-style-type: none"> ○あいち多文化共生センターにおける生活に関わる多言語での相談対応や多文化ソーシャルワーカーによる専門的な相談対応の実施、多文化子育てサロンの設置【15箇所：2022年度】
4-5	安心できる医療体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> ○不足が見込まれる回復期機能を持つ病床への転換支援【回復期機能の病床数：19,480床（2025年度）】 ○24時間365日対応可能な在宅医療に向けた研修会の実施【在宅療養支援診療所・病院数：1007施設（2023年度）】
4-6	困難を抱える女性・子ども・若者などへの支援	<ul style="list-style-type: none"> ○児童相談センター専門職員の増員や各種研修による専門性の強化、子ども食堂の設置促進 ○対象者の属性を問わない包括的な相談支援体制等の整備に取り組む市町村への支援

政策の柱		主な施策と目標等
5-1	新技術を活用した効率的な働き方の促進	<ul style="list-style-type: none"> ○テレワーク導入に関する相談、機器操作体験、情報提供等をワンストップで実施するテレワークサポートセンターやテレワーク体験などを行うモデルオフィスの設置【県内の中小企業のテレワーク導入率：30%(2023年度)】 ○デジタル技術活用相談窓口での相談対応や、専門家によるコンサルティングなどによる労働時間の短縮や生産性の向上を図る職場の省力化や無人化の促進【デジタル技術活用支援・マッチング件数：年間110件(～2022年度)】 ○県民の利便性の向上等のためのオンライン化可能な行政手続のオンライン化【2025年度までに完了】
5-2	多様で柔軟な働き方の促進	<ul style="list-style-type: none"> ○働き方改革を支援するための企業ニーズに応じたセミナーや課題解決型のワークショップの開催 ○サテライトオフィスを活用している企業の事例紹介やサテライトオフィス見学・体験会の開催
5-3	ワーク・ライフ・バランスの更なる普及拡大	<ul style="list-style-type: none"> ○あいちワーク・ライフ・バランス推進協議会による街頭啓発活動など地域一体となった取組の推進 ○愛知県ファミリー・フレンドリー企業登録促進【新規登録企業数：年間130社(～2025年度)】や、模範となる企業等の取組の周知 ○企業向けセミナーや、ワーク・ライフ・バランス普及コンサルタントの派遣による企業支援など、子育てや介護、あるいは、治療と仕事が両立できる働き方が可能な職場環境づくりの支援

6 イノベーションを巻き起こす力強い産業づくり

政策の柱		主な施策と目標等
6-1	STATION Ai を中核とした国際的なイノベーション創出拠点の形成	<ul style="list-style-type: none"> ○スタートアップ支援の総合的な機能をワンルーフ・オールインワンで提供する中核支援拠点 STATION Ai の整備【2024 年供用開始】、東三河地域を始め、地域の特性を生かしたテーマ・分野別のサテライト支援拠点の設立促進 ○起業家を発掘・育成するイベントの開催や資金調達面の支援の実施 ○海外のスタートアップ支援機関や大学との連携を通じた支援の実施
6-2	次世代産業の振興	<ul style="list-style-type: none"> ○ビジネスモデルを構築するための自動運転の実証実験の実施 ○あいち・なごやエアロスペースコンソーシアムによる航空機需要低迷期における経営基盤強化支援 ○高校生ロボットシステムインテグレーション競技会の開催【2022 年度から毎年度開催】
6-3	中小・小規模企業の持続的発展と生産性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○企業内でのデジタル化を推進・利活用できる人材の育成やデジタル技術の導入支援 ○あいち産業科学技術総合センターによる技術支援【県が主導する大学等との共同研究件数及びあいち産業科学技術総合センターにおける共同研究数：50 件（2025 年度）】
6-4	産業人材の育成・確保	<ul style="list-style-type: none"> ○「モノづくり×AI・IoT」をテーマとした大学生のハッカソンの開催 ○技能五輪メダリスト等の講話や実演など行う派遣講座、練習見学会の開催【技能に興味・関心を持った児童・生徒の割合：80%以上／年度】
6-5	スマート農林水産業等による生産力の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○スマート農業の現地実証及びICT等の先端技術を用いた営農体系の検討 ○航空レーザ計測による詳細な森林資源情報を一元管理できるシステムの開発 ○カキなどの新しい養殖技術の導入など、環境変化に伴う水産資源の変動に柔軟に対応できる生産体制の構築
6-6	県産農林水産物の需要拡大	<ul style="list-style-type: none"> ○畜産総合センター種鶏場の移転整備による名古屋コーチンの供給体制の強化【2022 年度竣工】 ○輸出拡大に向けた商談会の出展・商談支援【県産農林水産物等の輸出商談成約率：35%（2025 年）】

7 世界とつながるグローバルネットワークづくり

政策の柱		主な施策と目標等
7-1	Aichi Sky Expo の活用などによる M I C E の誘致・開催と国際観光都市の実現	<ul style="list-style-type: none"> ○Aichi Sky Expo 活性化推進機構による展示会等の企画・開催を通じた新たな展示会需要の創造【Aichi Sky Expo の年間想定稼働率：25%（2023 年度）】 ○M I C E を核とした国際観光都市の実現をめざした魅力ある機能整備の具体化に向けた検討
7-2	アジア競技大会を活用した戦略的なネットワークづくり	<ul style="list-style-type: none"> ○友好・協力関係にあるアジア諸国との関係深化と他のアジアの国々との新たなネットワークづくりの推進 ○アジア競技大会に向けたあいちの農林水産業魅力向上プロジェクトの推進
7-3	グローバル市場の更なる獲得と海外からの投資促進	<ul style="list-style-type: none"> ○あいち国際ビジネス支援センターによる国際ビジネスに関する相談対応や専門家によるハンズオン型支援などの県内企業の海外展開支援【センターの利用件数：年間 800 件（～2025 年度）】 ○G N I C、ジェトロなど関係機関と連携した、本県への海外企業の誘致や海外からの投資の促進【国内外における経済交流事業の実施件数：70 件（2025 年度）】
7-4	海外からの人材獲得	<ul style="list-style-type: none"> ○愛知のものづくりを支えるアジア諸国の留学生の受入れ支援 ○外国人留学生を対象とした国内外でのインターンシップの実施等による県内企業への就職促進 ○アジア大学サミットでのブース出展や中国 3 大学（清華大学・上海交通大学・浙江大学）との交流事業（学生・研究者の派遣・受入れ等）などによる本県の知名度向上や人材交流の促進
7-5	海外とのパートナーシップの構築	<ul style="list-style-type: none"> ○知事渡航を始め行政、経済、教育など幅広い分野での交流推進 ○互いの地域特性を活かすことができる国や地域との新たなパートナーシップの構築や、海外大学等との新たな連携・協力関係の構築に向けた検討

政策の柱		主な施策と目標等
8-1	中京大都市圏の拠点性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○名古屋駅のスーパーターミナル化に向けた、わかりやすい乗り換え空間の形成等に対する支援 ○広域的な道路ネットワークや、西知多道路を始め主要幹線道路網の整備・充実 ○名古屋東部丘陵地域におけるM a a Sの導入に向けた実証実験の実施 ○中部国際空港の二本目滑走路の早期実現に向けた国等への働きかけ及び航空ネットワークの早期回復、拡充の取組推進、県営名古屋空港における通勤航空及びビジネス機など小型航空機の拠点化の推進 ○名古屋港、衣浦港、三河港の物流機能の強化 ○あいち・とこなめスーパーシティ基本構想の策定や、先端的サービスのビジネスモデル化の推進
8-2	交流圏の拡大に向けた戦略的広域連携	<ul style="list-style-type: none"> ○北陸圏との連携・交流を活性化させる東海北陸自動車道の全線4車線化の整備促進 ○リニア中央新幹線開業後の東海道新幹線の利活用の促進に向け、鉄道ネットワークの充実・強化に関する方策案の具体的な検討 ○三遠南信地域内の連携や交流の基盤となる三遠南信自動車道の整備促進
8-3	持続可能でスマートな地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○市町村が行う民間空き家等の除却・活用に対する支援 ○県有施設への5Gアンテナ基地局設置を支援するワンストップ窓口の開設【2021年度】 ○県有施設・社会インフラの長寿命化計画に基づく効率的な維持管理 ○県有施設・社会インフラへのPFIの導入など民間活力の積極的な活用

政策の柱		主な施策と目標等
9-1	ジブリパークを活用した圏域全体のプロモーションの展開	<ul style="list-style-type: none"> ○ジブリパークの「青春の丘エリア」、「ジブリの大倉庫エリア」、「どんどこ森エリア」の整備【2022年秋開業】、「もののけの里エリア」、「魔女の谷エリア」の整備【2023年度開業】 ○ジブリパーク来場者の県内での宿泊や周遊を図る、来場者データを活用したシステムの構築及び「ジブリパークのある愛知」のPR・プロモーション等の実施
9-2	世界に向け創造・発信する文化芸術の振興	<ul style="list-style-type: none"> ○国際芸術祭「あいち2022」の開催【2022年】 ○県立芸術大学でのメディア映像専攻新設のための校舎整備【2022年度新設】、新彫刻棟の整備【2023年度竣工】 ○東海地方最大規模の弥生集落の遺跡である、あいち朝日遺跡ミュージアムでの企画展の開催
9-3	アジア競技大会始め国内外から注目されるスポーツ大会の開催	<ul style="list-style-type: none"> ○アジア競技大会の開催に向けた選手村の計画策定や各運営分野の検討、大会のPRの実施【2026年開催】 ○選手村の後利用事業の協議・調整の実施、後利用を踏まえた都市基盤の整備 ○地域のスポーツ振興を図る、次期「愛知県スポーツ推進計画」の策定【2022年度】 ○愛知県新体育館のBTコンセッション方式による整備【2025年夏オープン】
9-4	愛知ならではの観光の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○愛知ならではの「ツウ」な魅力を盛り込んだ、ターゲットに合わせた旅行商品の造成、販売やデータに基づく効果的なPRなど、「あいち『ツウ』リズム」の普及推進
9-5	観光交流拠点としての機能強化、人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ○アジア圏の国々の状況に応じた個人旅行（FIT）向け観光プロモーションの実施や高級ホテルの立地支援、多言語コールセンターの運営による外国人旅行者の受入れ環境の整備
9-6	居住地として選ばれる魅力の創造・発信	<ul style="list-style-type: none"> ○県政150周年のロゴマークを活用したホームページやポスター、記念事業などによるPR ○三河山間地域でのテレワーク・ワーケーションが可能な施設の整備の支援、愛知の住みやすさの発信

政策の柱		主な施策と目標等
10-1	脱炭素社会を見据えた地球温暖化対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○住宅用地球温暖化対策設備の導入支援など環境に配慮した建築物の普及促進 ○EV・PHV・FCV等の導入支援や県独自の自動車税種別割の課税免除による普及促進 ○あいちカーボンニュートラル戦略会議の開催やアイデア募集など、カーボンニュートラルの実現に向けた新たな取組の具体化支援 ○衣浦西部浄化センターにおける下水汚泥焼却施設（廃熱利用）の整備【2022年度供用開始】 ○本県独自の低炭素水素認証制度の運用などによる低炭素水素サプライチェーンの事業化の推進
10-2	人と自然との共生の実現	<ul style="list-style-type: none"> ○湿地保全活動のモデル事業の実施【新たに10箇所（2030年度）】 ○ユース世代による生物多様性保全活動の支援や各地域の生態系ネットワーク協議会を通じた取組の推進 ○あいち森と緑づくり税などを活用した森林・里山林の整備、保全【毎年4,000ha（～2025年度）】 ○三河湾大感謝祭の開催やサポーター活動の支援など、三河湾環境再生プロジェクトの推進
10-3	循環型社会づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○プラスチックの循環モデルの創出や循環経済（サーキュラー・エコノミー）など新たな視点を踏まえた次期あいち地域循環圏形成プランの策定【2021年度】 ○循環ビジネスの事業化の検討や施設整備への支援【事業化の検討：8件、施設整備：6件（2021年度）】
10-4	持続可能な社会を支える人づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○もりの学舎での自然体感プログラムや「あいち環境塾」の開催など、未就学児童から大学生、中高年・シニアに至るまで各世代に応じた環境学習等の機会の拡充 ○SDGs推進フェアの開催やSDGs関連国際会議の開催支援【2021年度】によるSDGs達成に向けた本県の取組の国内外への発信 ○エシカル消費普及啓発ロゴマーク及びイメージ動画の活用やエシカル消費ポータルサイトによる情報発信【エシカル消費ポータルサイトへのアクセス件数：毎年度5,000件】

重要政策の方向性に位置付けた進捗管理指標の 2023 年頃の進捗目標

重要政策の方向性①

進捗管理指標	進捗目標	現状
家具の固定率	65% (2023 年度)	55.6% (2021 年度)
事業継続計画を策定している中小企業割合	12% (2023 年度)	9.7% (2019 年度)
交通事故死者数	137 人以下 (2023 年)	154 人 (2020 年)

重要政策の方向性②

進捗管理指標	進捗目標	現状
県立高等学校第 3 学年において、英検準 2 級以上を取得している生徒及び英検準 2 級以上相当の英語力を有すると思われる生徒の割合	42%程度 (2023 年度)	36.7% (2019 年度)
授業中に ICT を活用して指導できる公立学校の教員の割合	88%程度 (2023 年度)	62.8% (2019 年度)

重要政策の方向性③

進捗管理指標	進捗目標	現状
労働力率	64.5%を上回る (2023 年)	64.8% (2020 年)
管理的職業従事者に占める女性の割合	20% (2025 年)	13.5% (2017 年)
民間企業における障害者の実雇用率	法定雇用率 (2.3%) の達成 (2023 年)	2.08% (2020 年)

重要政策の方向性④

進捗管理指標	進捗目標	現状
平均理想子ども数と平均予定子ども数の差	0.37 人程度 (2023 年度)	0.38 人 (2018 年度)
地域生活支援拠点等が有する機能の充実に取り組む市町村数	全市町村 (2023 年度)	—
健康寿命	男性 75 年以上、女性 80 年以上 (2022 年)	男性 73.06 年、女性 76.32 年 (2016 年)

重要政策の方向性⑤

進捗管理指標	進捗目標	現状
一般労働者の年間総実労働時間数	1,950 時間 (2025 年)	1,963 時間 (2020 年)

重要政策の方向性⑥

進捗管理指標	進捗目標	現状
製造品出荷額等の全国シェア	15%程度 (2025年)	14.9% (2019年)
研究開発費の全国シェア	14.8%程度 (2023年度)	14.2% (2018年度)
農業産出額	3,000億円程度 (2023年)	2,949億円 (2019年)

重要政策の方向性⑦

進捗管理指標	進捗目標	現状
国際会議の開催件数	220件 (2023年)	259件 (2019年)
外国企業の誘致件数	24件 (2021～2023年度累計)	5件 (2020年度)
県内で就職を目的として在留資格を変更した留学生数	1,600人 (2023年)	1,381人 (2019年)

重要政策の方向性⑧

進捗管理指標	進捗目標	現状
企業の本社（本社・本店）の数の全国シェア	6.4%程度 (2023年)	6.2% (2016年)
労働力人口の全国シェア	6.3%程度 (2023年)	6.2% (2020年)

重要政策の方向性⑨

進捗管理指標	進捗目標	現状
観光消費額	1兆円 (2023年)	8,599億円 (2019年)
愛知県の転出入者数（社会増減数※）	4.5万人（年平均1.5万人）の転入超過 (2021～2023年累計)	208人 (2020年)

※外国人を含む。

重要政策の方向性⑩

進捗管理指標	進捗目標	現状
温室効果ガスの総排出量の削減率（2013年度比） 【再掲】	—	3.5%削減 (2018年度)
県民の「生物多様性」という言葉の意味の認識状況	58% (2023年度)	51.2% (2020年度)
SDGsの理解度	44% (2023年度)	42.2% (2021年度)